「地域のまち歩きから」　　豊島区・亀井天元

２０１７・８・１９（土）西武池袋線東長崎駅改札(15時集合）⇒椎名町駅(17時30分ころ解散）
●東長崎駅：北口側構内壁：千川上水説明板 ↓駅前密集地(再開発？)
●後退敷地(補助172)　　　　　　　　　　↓これより都市防災不燃化促進事業実施地区
●駐車場(補助172収用地)　　　　　　　　↓都市防災不燃化促進事業実施地区
●Ｗ２階（管理良好・在来工法）住宅　　　　　　　　 ↓都市防災不燃化促進事業実施地区
●↓道路予定地の状況
●↓道路予定地の状況
●古い屋敷住宅　　　　　　　　　　　　　↓都市防災不燃化促進事業実施地区
●店舗住宅(老朽)　↓駅南口店舗解体⇒11階建て（店舗・保育所・共住）日建設計
●笠間稲荷、●しっかりしたラスモル住宅2棟
●五郎久保稲荷神社　↓これより地区防災不燃化促進事業実施道路（隣地工事中あり）
創建年は不詳。長崎神社の末社。旧長崎村字五郎窪（南長崎3～5丁目）の人達によって祀られている。
●墓・石碑（伊佐佐兵衛の墓・大正5年9月建立）、
●木造2階（出し桁造りの旧商家）　↓これより地区防災不燃化促進事業実施道路
●岩崎家住宅　　　↓これより清戸道沿い椎名町遺跡
旧長崎村字五郎窪の旧家で、清戸道沿いで肥料や糠を商っていた。江戸時代の建築で、1918年（大正７）に解体されたが、その後、当時と同じ様式で再建された。平成28年9月から29年5月末日まで、耐震性向上のための工事が行われた。
清戸道は江戸中期以降、近郊農家の野菜を神田市場へ運ぶ産業道路であった。現在の目白通りから南長崎2丁目の二又交差点から光和通りに入り、千川通りにつながる道。江戸と武蔵国多摩郡清戸を結ぶ道といわれており、清戸の農産物や練馬大根を江戸へ運ぶ輸送路となっていた。
●子育観音尊　●天理教東府分教会（伝統木造建築）　↓椎名町小学校に近接
●区立南長崎花咲公園
桜の大木とベンチあり。トキワ荘のヒーローたち（記念碑）、トイレあり。公園敷地内にトキワ荘の復元建築？がつくられることが決定している。樹木伐採やむなしか。敷地全体が椎名町遺跡文化財地区。新防火。無届と思しき倉庫類あり。
●トキワ荘跡地モニュメント　　　↓ここまで椎名町遺跡
●松葉
ラーメンの小池さんなど、多くのマンガに登場するラーメン店。ファンは必ず立ち寄るスポット。
●トキワ荘通りお休み処
トイレあり。元お米屋さんの建物。資料あり。
●子育地蔵尊　　↓南長崎第二保育園に近接⇒アパートメント惣「アパート惣」に抜けるルート上に、共同「井戸」があります。昔から、長崎の地域では　、数軒で井戸を共有していたそうで、唯一？の残存物。アトリエ村（長崎2丁目）でもそのような形態であったそうです。さくらが丘パルテノンあたりのことと連動した話（説明板）の設置で、井水のくみ上げも故障のようだが、地域の生活史上の、貴重な遺構の一つではないか。
アパート惣は、周辺に取り込まれた中庭を持つことで、同じオーナーの周辺既存建築の空室も減ったという…。
⇒アパートメント空（泉　幸輔の共住、空はバーベキューのできる中庭など共同空間・みどりをつくるため容積限度を抑えて建築）。
　　　　1710（宝永7）年、長崎村字五郎窪の三又路（長崎３－２－１）、現在の交番の位
　　　置に建立された。道標を兼ねる。子育地蔵として信仰されたが、1938（昭和13）年
　　　目白通りの拡幅工事により現在地に移転。由来碑が建つ。
●いちご村（小池正人）
●参詣記念碑
金剛院の境外仏堂・閻魔堂の一角に建つ。1813年（文化10）年の羽黒三山参詣と西国・板東・秩父の合計百観音巡拝記念碑がある。ほかに像容十三仏角柱碑も建つ。
●椎名町公園
無届と思しき倉庫類が立ち並ぶ。
●シーナと一平
元とんかつ屋、民泊など。　↓不燃化特区（戸建て建て替え促進事業進行中現場）
●長崎神社
旧長崎村の鎮守。江戸時代には十羅刹女社といい、1733（享保18）年の手水鉢に刻字がある。本殿は1849年(嘉永2)年に建立、伝統木造建築。椎名町駅車場開設記念碑、日露戦没記念碑が建つ。5月の第2日曜日には、江戸時代から続く長崎獅子舞(区指定民俗文化財)が奉納される。
●マンガ地蔵
最近設置された。
●金剛院
真言宗豊山派。蓮華山仏性寺。1522（大永2）年創立。1709（宝永6）年観音堂の他（長崎3－28）より移転。1780（安永9）年の薬医門様式の山門（赤門）、阿弥陀如来画像と庚申塔、1877（明治10）年の馬頭観音がある。山門前には長崎不動尊と1796(寛政8)年の地蔵を祀る。庫裏と本堂は国登録有形文化財。
●椎名町駅：南口案内板＆壁画＆ギャラリー
トキワ荘ゆかりのマンガ家によるイラスト等が描かれた案内板と壁画。ギャラリーでは豊島区ゆかりのマンガ家紹介展示を行うこともある。駅の発車メロディーは「おれは怪物くんだ」。